



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月5日

上場会社名 大日本塗料株式会社
 コード番号 4611 URL <https://www.dnt.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 里 隆幸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 永野 達彦
 四半期報告書提出予定日 2022年8月8日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 06-6266-3102

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	17,094	2.6	702	28.0	922	18.8	594	1.0
2022年3月期第1四半期	16,666	8.1	975	96.9	1,135	99.7	588	136.0

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 841百万円 (36.2%) 2022年3月期第1四半期 618百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	20.98	20.80
2022年3月期第1四半期	20.80	20.64

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	90,284	52,125	54.2	1,727.18
2022年3月期	87,705	51,991	55.9	1,730.00

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 48,935百万円 2022年3月期 49,015百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		25.00	25.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	34,100	3.9	1,250	28.4	1,370	21.8	750	18.6	26.47
通期	70,800	5.8	3,300	3.7	3,550	2.4	2,000	1.6	70.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	29,710,678 株	2022年3月期	29,710,678 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	1,377,947 株	2022年3月期	1,377,931 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	28,332,737 株	2022年3月期1Q	28,305,339 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動が正常化に向かう中で景気回復の兆しがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の新たな変異株による感染の急拡大が進んでおり、未だに予断を許さない状況にあります。また、ウクライナ情勢の長期化がもたらす世界的なサプライチェーンの混乱や原材料価格の上昇、更には急激な円安進行による景気の下振れリスクは高まっており、先行きに対する不透明感は増しております。

当社グループの経営成績については、売上高は、国内塗料事業において価格転嫁の進展により、170億9千4百万円（前年同期比 2.6%増）となりました。利益面では、原材料価格上昇の影響がいつそう強まったことで、営業利益は7億2百万円（同 2億7千2百万円減）、経常利益は9億2千2百万円（同 2億1千3百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億9千4百万円（同 5百万円増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

[国内塗料事業]

一般用分野では、構造物用塗料が堅調に推移いたしました。工業用分野では、半導体不足の影響によりプラスチック用塗料等の需要が減少し、販売は低調に推移いたしました。当セグメントの売上高は価格転嫁の進展により前年同期を上回りました。利益面では、原材料価格上昇の影響を補うまでには至らず、前年同期を下回りました。

この結果、売上高は、128億1千万円（前年同期比 3.9%増）、営業利益は3億4千3百万円（同 2億6千万円減）となりました。

[海外塗料事業]

東南アジア及び北中米地域では、主要顧客の生産減少を受け自動車部品用塗料の需要が減少し、売上高はそれぞれ前年同期を下回りました。中国では、新規顧客の獲得により焼付用塗料の販売が伸長し、売上高は前年同期を上回りました。当セグメントの売上高は円安による為替換算の影響により、前年同期を上回りました。利益面では、原材料価格上昇の影響を受け、前年同期を下回りました。

この結果、売上高は、18億4千4百万円（前年同期比 0.4%増）、営業利益は9千5百万円（同 9千7百万円減）となりました。

[照明機器事業]

業務用LED照明分野では、一部市況の回復により売上高は前年同期を上回りました。当セグメントの売上高は照明工事の売上高が減少したことにより前年同期を下回りました。利益面では、業務用LED照明分野における売上増加のほか、経費削減に努めたことで前年同期を上回りました。

この結果、売上高は、17億6千8百万円（前年同期比 1.9%減）、営業利益は1億6千9百万円（同 6千4百万円増）となりました。

[蛍光色材事業]

加工品分野では、各種イベント類の再開等を受け需要が回復基調にありますが、顔料分野では、国内市場において主要顧客の需要が減少し、当セグメントの売上高は前年同期を下回りました。利益面では、原材料価格上昇に対する価格転嫁や経費削減に努めたものの、売上高の減少により前年同期を下回りました。

この結果、売上高は、2億8千9百万円（前年同期比 12.2%減）、営業利益は1千8百万円（同 3百万円減）となりました。

[その他事業]

売上高は、3億8千1百万円（前年同期比 5.2%増）、営業利益は3千2百万円（同 2百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は902億8千4百万円となり、前連結会計年度末と比較して25億7千9百万円の増加となりました。流動資産は367億9千万円で前連結会計年度末と比較して20億1千7百万円の増加となりましたが、これは現金及び預金の減少1億1千2百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の増加11億6千7百万円、棚卸資産の増加7億3千7百万円、その他の増加2億2千1百万円等が主因であります。固定資産は534億9千3百万円で前連結会計年度末と比較して5億6千1百万円の増加となりましたが、これは有形固定資産の増加7億2千7百万円、投資その他の資産の減少1億3千5百万円等が主因であります。

負債は381億5千9百万円となり、前連結会計年度末と比較して24億4千5百万円の増加となりました。流動負債は284億1千5百万円で前連結会計年度末と比較して26億2千4百万円の増加となりましたが、これは支払手形及び買掛金の増加4億3千6百万円、短期借入金の増加26億5千万円、未払法人税等の減少2億7千5百万円、製品補償引当金の減少1億4千1百万円等が主因であります。固定負債は97億4千4百万円で前連結会計年度末と比較して1億7千9百万円の減少となりましたが、これは繰延税金負債の減少1億1千6百万円等が主因であります。

純資産は521億2千5百万円で前連結会計年度末と比較して1億3千3百万円の増加となりました。これは利益剰余金の減少1億1千3百万円、その他有価証券評価差額金の減少1億9千4百万円、為替換算調整勘定の増加4億6千6百万円、退職給付に係る調整累計額の減少2億3千8百万円、非支配株主持分の増加2億1千3百万円等が主因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想は、前回発表(2022年5月11日)の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,777	6,664
受取手形、売掛金及び契約資産	16,411	17,579
商品及び製品	5,603	5,788
仕掛品	905	932
原材料及び貯蔵品	3,720	4,245
その他	1,386	1,608
貸倒引当金	△31	△27
流動資産合計	34,773	36,790
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,323	22,575
減価償却累計額	△14,449	△14,655
建物及び構築物(純額)	7,873	7,919
機械装置及び運搬具	23,441	23,813
減価償却累計額	△19,669	△19,999
機械装置及び運搬具(純額)	3,772	3,813
土地	11,498	12,190
リース資産	1,902	1,876
減価償却累計額	△1,001	△1,044
リース資産(純額)	900	832
建設仮勘定	209	257
その他	6,820	6,901
減価償却累計額	△5,483	△5,595
その他(純額)	1,336	1,305
有形固定資産合計	25,591	26,319
無形固定資産		
リース資産	120	108
その他	254	236
無形固定資産合計	374	344
投資その他の資産		
投資有価証券	7,324	7,049
繰延税金資産	1,794	1,735
退職給付に係る資産	17,264	17,483
その他	608	587
貸倒引当金	△25	△25
投資その他の資産合計	26,965	26,830
固定資産合計	52,932	53,493
資産合計	87,705	90,284

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,340	16,777
短期借入金	3,050	5,700
リース債務	312	297
未払法人税等	429	154
役員賞与引当金	56	—
製品補償引当金	370	228
その他	5,230	5,256
流動負債合計	25,790	28,415
固定負債		
長期借入金	1,200	1,200
リース債務	981	909
繰延税金負債	5,436	5,319
再評価に係る繰延税金負債	1,303	1,303
退職給付に係る負債	938	953
環境対策引当金	8	8
その他	54	49
固定負債合計	9,923	9,744
負債合計	35,713	38,159
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,827	8,827
資本剰余金	2,440	2,440
利益剰余金	29,417	29,303
自己株式	△1,582	△1,582
株主資本合計	39,101	38,988
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,027	2,833
土地再評価差額金	1,882	1,882
為替換算調整勘定	△2	463
退職給付に係る調整累計額	5,006	4,768
その他の包括利益累計額合計	9,913	9,947
新株予約権	243	243
非支配株主持分	2,732	2,945
純資産合計	51,991	52,125
負債純資産合計	87,705	90,284

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	16,666	17,094
売上原価	11,532	12,261
売上総利益	5,133	4,833
販売費及び一般管理費	4,158	4,130
営業利益	975	702
営業外収益		
受取利息	5	3
受取配当金	93	103
為替差益	29	82
その他	82	73
営業外収益合計	211	263
営業外費用		
支払利息	19	17
その他	30	26
営業外費用合計	50	43
経常利益	1,135	922
特別損失		
固定資産処分損	14	4
減損損失	—	71
特別損失合計	14	75
税金等調整前四半期純利益	1,121	847
法人税、住民税及び事業税	121	62
法人税等調整額	311	138
法人税等合計	433	200
四半期純利益	687	646
非支配株主に帰属する四半期純利益	98	51
親会社株主に帰属する四半期純利益	588	594

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	687	646
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△248	△194
為替換算調整勘定	380	628
退職給付に係る調整額	△202	△238
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	△69	195
四半期包括利益	618	841
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	458	628
非支配株主に係る四半期包括利益	159	213

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社である日塗化学株式会社及びビーオーケミカル株式会社は、2022年4月1日付で日塗化学株式会社を存続会社、ビーオーケミカル株式会社を消滅会社とする吸収合併を行っており、消滅会社のビーオーケミカル株式会社を連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	12,333	1,838	1,802	329	16,304	362	16,666	—	16,666
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	265	1	6	19	293	584	878	△878	—
計	12,599	1,839	1,809	349	16,598	947	17,545	△878	16,666
セグメント利益	603	192	104	21	922	30	952	23	975

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事事業、物流事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額23百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	12,810	1,844	1,768	289	16,713	381	17,094	—	17,094
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	266	—	7	23	297	596	893	△893	—
計	13,076	1,844	1,776	313	17,010	977	17,988	△893	17,094
セグメント利益	343	95	169	18	625	32	658	44	702

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事業、物流事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額44百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントごとの固定資産の減損損失の計上額は「国内塗料」において71百万円であります。

なお、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

(重要な後発事象)

譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分

当社は、2022年6月29日開催の取締役会において、譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分を行うことについて決議し、2022年7月20日に下記のとおり払込手続きが完了いたしました。

処分の概要

(1) 払込期日	2022年7月20日
(2) 処分する株式の種類及び数	当社普通株式 22,455株
(3) 処分価額	1株につき718円
(4) 処分総額	16,122,690円
(5) 処分先	当社の取締役(※) 5名 16,921株 当社の執行役員 5名 5,534株 ※社外取締役を除く。